

平成26年度 小千谷市国語部 活動報告

部長 関 昌子

1 研究主題

- 教え、考えさせる授業づくり

2 研究の概要

- (1) 4月に学年別テーマを決め、実践をし、8月にレポートを持ち寄り研修を深める。
- (2) 11月に小千谷小学校での「中越国語教育研究会」に参加し、授業参観並びに協議会で研修を深める。

3 研究の実際

- (1) 8月21日 夏季学年別グループ研修会

【第1学年】「みいつけた」の指導案検討会

【第2学年】「お手紙」「説明文」の指導案検討会

【第3・4学年】各自板書写真を持ち寄り板書の検討

【第5・6学年】「わらぐつの中の神様」の指導案検討

<指導案検討で課題となった事項等>

- ・学習のゴール（目的）設定をする。
- ・「読み」の視点を明確に児童にもたせる。
- ・「想像」を広げるのか、収束させる場面なのか、検討する。
- ・図鑑で調べるより、外に出て実際に見聞きしたことを図鑑にまとめると効果的である。
- ・作品紹介カード（ゴール）作成のために子どもが持つであろう課題を予想する
- ・年間を通して付けたい「読み」の力は何なのか、吟味する。
- ・「型」を作ることの意義を明確にもつ。

- (2) 11月28日 中越国語教育研究会公開授業参加

- ・全会員の参加ではなかったが、夏季学年別グループ研修会で検討した事柄を確認できた。

授業者 小千谷小学校

2年 上月康弘 教諭 「がまくんかえるくんシリーズを読もう 『お手紙』他」

5年 嵐 直人 教諭 「作品『わらぐつの中の神様』から学ぶ」



4 成果と課題

- ・学年別にテーマがあり、また2学期に指導する単元の指導案検討のため、教材研究を深く行うことができ、今後に生かせる。
- ・今年度は、学習指導要領伝達講習会がなく、時間的にゆったりと学年別研修ができた。
- ・教材解釈をじっくりと行い、他校の先生たちと意見を交わすことができ、楽しく勉強することができた。
- ・グループ協議の視点を明確にして、話し合わせないと話し合いが生きてこない。
- ・板書記録の写真は、とても参考になった。
- ・授業改善の一つでも生かせるように各自が意識していく。

